



喜木川沿いに咲く水仙

## 12月定例会の概要

平成26年12月定例会は、12月2日に開会し、18日間の会期で19日に閉会しました。

この定例会において、市長提出の報告2件、諮問1件、予算案12件、条例案13件、その他1件、計29件、また議会からその他3件の合計32件が上程されました。

その内、請願2件は不採択、その他の案件については原案のとおり可決、決定等されました。

また、9月定例会において閉会中の継続審査とした請願第6号及び第7号については、継続審査となりました。同じく継続審査となっていた25年度決算3件は、認定されました。

## 【12月定例会日程】

会議日	会議別	会議内容
2日(火)	本会議	議案の上程 提案理由の説明
8日(月)	本会議	一般質問(6名)
10日(水)	本会議	議案に対する質疑
	委員会	総務委員会
11日(木)	委員会	民生文教委員会
12日(金)	委員会	産業建設委員会
19日(金)	本会議	委員長報告 討論、採決

※次回定例会は3月に開催の予定です。

## 議 会 日 誌 (H 26. 9. 19 ~ H 26. 12. 1)

### ◆ 委員会活動状況

- 10月14日 決算審査特別委員会開催（～15日・17日）
- 23日 民生文教委員会開催（病院事業会計決算）
- 27日 産業建設委員会開催（水道事業会計決算）
- 11月25日 議会運営委員会開催

### ◆ 庶務関係

- 9月26日 土佐清水市議会正副議長が就任挨拶のため来庁
- 10月3日 第25回なくせじん肺全国キャラバン愛媛県実行委員会が陳情のため来庁
- ” 宇和島市議会正副議長が就任挨拶のため来庁
- 16日 大分県議会議員団が事務調査のため来訪

- 10月17日 国民の食糧と健康を守る運動愛媛連絡会が要請のため来庁
- 22日 長野県千曲市議会議員一行（8人）が視察研修のため来庁
- 25日 議長が土佐清水市制60周年記念式典に出席（土佐清水市）
- 29日 愛媛地方労働組合連合会が全県キャラバンのため来庁
- 31日 議長が愛媛県立川之石高等学校創立百周年記念式典に出席
- 11月1日 議長が西条市合併10周年記念式典に出席
- 21日 2014社会保障拡充県内キャラバン一行が陳情のため来庁
- 12月1日 議長が温浴施設安全祈願祭に出席

# 市政をただす 一般質問

今定例会では、6人の議員が一般質問に立ち、市長はじめ関係理事者の考え方をたしました。質問及び理事者答弁は質問者本人が要約したものです。

なお、掲載は質問順、一般質問の詳細につきましては、会議録に掲載しています。

会議録は、議会事務局、市立図書館、中央公民館、中央公民館保内別館で、ご覧になることができます。また、市議会ホームページ上でもご覧になれます。

**訂正** 11月付議会だより2面の「平家恭治議員の一般質問」の記事で、市民会館については「運営審議会で廃止を決定した」とあるのは誤りでした。市民会館について平成26年9月現在では、運営審議会で廃止を含めて協議していました。



河野裕保議員

### 質問事項

- |   |                 |                                    |
|---|-----------------|------------------------------------|
| 3   | 2               | 1                                  |
| 須川奥地区の扇状地の地形及びリアス式湾頭低地に形成された白浜・大平地区の短時間集中豪雨対策について | 今後の河川改修等の整備予定は、 | 八幡浜市における土砂災害防止事業（ハード事業）の今後の見通しについて |

**問** 本市には、愛媛県指定の「地すべり危険箇所」が100箇所、「急傾斜地崩壊危険区域」が267箇所、「土石流危険渓流」が236箇所及び、本市は地質構造上、複雑で脆弱な側面を見せている。これら危険個所の過去5年間の事業実績と、事業進捗率、今後の事業見通し及び国土強靱化計画の方向性はどうか。

**答** 又、危険渓流等に築造された砂防ダム及び堰堤が土砂の堆積により、一部に機能不全が見受けられるが、除去対策等のように考えているか。今後、危険渓流においては、監視カメラの設置や土石流の発生を知らせるブザーの設置計画等についてもどうか。

**答** 八幡浜市における本年度を含む過去5年間の事業実績は、「地すべり対策」で1億9千万円。「急傾斜地崩壊対策」で4億4千万円。「土石流危険渓流対策」で7億1千万円となっている。

今後の事業見通しは、いまだ施設が未整備の、土砂災害危険箇所でも多数の積み残しがあり、住民の土砂災害に対する意識啓発を図りながら、用地の協力を頂いて砂防施設整備を図ってまいりたい。又土砂災害危険箇所の整備進捗率は、愛媛県全体で23・5%に止まり、すべての整備完了は見通せない状況にある。この先、砂防施設の整備進捗のためには多額の経費を必要とするが、

国の砂防関係予算はこの所減少している。広島市での土砂災害を踏まえ、あらゆる機会を通じて国に予算の増額を要望し、ハード事業の推進に努め、土砂災害警戒区域等の指定の促進と併せて地域防災等のソフト対策の充実を図りたい。なお、国土強靱化計画については、目下具体化してないが、注視していきたいと考えている。

砂防ダムは、不透過型砂防堰堤は満砂となっても機能を損なわれない仕組みであるが、流域の荒廃が著しく、堆積土砂や流木により不安定な場合は、緊急性を考慮して土砂撤去を実施している。又、流域の広い渓流においては、複数の砂防堰堤が必要となることから、新たな施設を造ることを考えている。土石流危険渓流における、監視カメラ及びブザーについては現在のところ設置の予定はない。但し、下流の人家に大きな被害が及ぶ恐れのある箇所については、個別に監視システムの設置を検討したい。

**問** 県が事業主体である、急傾斜地崩壊対策事業区域内の未整備箇所において、市が行う「がけ防」で事業はできるのか。

**答** 急傾斜地崩壊対策事業で工事が出来ないものについては、たとえ急傾斜地崩壊危険区域内であっても、県と市で連携を図り、市が事業主体である「がけ崩れ防災対策事業」で施工している。



石崎久次議員

質問事項

- 1 大城市政について
- 2 原発再稼働について

市立病院の一期工事の遅れについて

**問** 一か月程度完成が遅れると報告があったが具体的に納得のいく説明を。

**答** 夏場あたりから現場作業員に不足が生じ始め、特に躯体工事の要であるコンクリート型枠工の確保が困難な状況が続いているためである。

**再問** インフレスライド条項に基づき契約金額を上げたのだから、相手方に対し契約内容の約束を守り、厳しく対応を求めるべきではないのか。

**答** 全国的に予測ができないことが発生したという事で、一業社の責めに帰すべきことではないと判断している。

地方創生について

**問** ミカンの品質、数量、ブランドを守ってゆく上で、荒廃圏対策も大切と思うが、市の今後の地方創生と名代の施策に反映していくのか。

**答** 当然総合戦略にしていきたい。ミカンに関してはこだわっていききたいと考えている。

原発再稼働について

**問** 東日本大震災前の伊方原子力発電所稼働時の経済効果と、市全体の総生産額はいくらか。

**答** 平成23年5月の推計では当市への経済

効果については67億円、総生産額としては、1108億円である。

**問** もしも福島と同じ様な原子力発電所の過酷事故が発生したと仮定した場合、市民全員が避難になったと想定し、ミカン山はどうなると考えられるか。

**答** 事故の程度にもよるが、市全域が20キロ以内の警戒区域に指定されることが考えられる。ミカン山も時間の経過とともに荒れていくことは免れないと考える。

**問** 福島の事故に対し、農業に従事されていた人々に対する補償はどうなっているのか。例・避難指示が解除された時ではなく、元の収益が得られる様になった時まで補償はされるのか。

**答** 原子力損害の賠償に関する法律18条に基づいた審査会に於いて、賠償すべき損害と認められる一定の範囲の損害累計を示し、もとの活動が可能になるまで補償されるものだと考えられる。



改築中の市立八幡浜総合病院



遠藤素子議員

質問事項

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 原発再稼働については地元としての意志表示を
- 3 子育て支援について

市長の政治姿勢について

**問** 今総選挙中だが、安倍首相の余りの民意を無視した国会運営に多くの国民が危険性を感じている。市長はこのことについて、どのように感じているか。

**答** 前回の総選挙の結果がある意味民意そのものであり、安倍政権は民意を受けて発足したものだ。今回の選挙は、安倍政権の2年間の取り組みについて国民の判断が下されるもので注視していきたい。

**指摘** 確かに前の選挙で民意は表明されたが、小選挙区制という民意を反映しない制度によって民意とはかけ離れている。消費税というのは、所得の低い人ほど負担が重くのかかり、景気を悪くする最悪の税制であること。また、現在は富裕層ほど税負担率が低くなるなど、大企業や大金持ちばかりが優遇されている。お金のあるところからもっと税金を納めてもらって消費税の10%増税は先延ばしではなく中止すべきで、国に意見を上げるべきではないかなどとた

だした。  
**原発再稼働の是非については地元としての意志表示を**

**問** 先日、福島から双海町に避難されている渡部寛志さんの話を聞いた。『私は原発から12キロのところに住んでいた。あの事故の日から故郷を奪われ、家族はばらばらになり、あの日以来近所の人とも会っていない。こんなことが伊方で起こらないとは言

い。こんなことが伊方で起こらないとは言

い切れない。原発をなくせば、その危険性はゼロになる。この道を選んでほしい』ということであった。

**答** 政府は、原子力規制委員会の適合判断が下れば、地元のご理解を得たうえで再稼働を進めるとしている。八幡浜は地元と考えべきだと思うがどうか。  
**答** 福島のような苛酷事故が発生すれば、市民が住居を追われ、生活基盤を根こそぎ失われることになると思っている。  
**再稼働を含め発電所に関して何らかの判断が必要な節目には、当然当市の意向が反映されるべきと思っている。**

子育て支援について

**問** 小学3年生までの完全医療費無料化を。それが無理ならせめて、中学生までの虫歯の治療費の助成はできないか。

**答** 前者で約2千万円、後者で約800万円の負担増となり、検討課題としたい。  
**白浜保育所の民営化について**

**問** 11月28日、白浜保育所を28年度から民営化すると説明会が催され、保護者は大変な不安を抱えている。休日や祭日の保育・夜間の保育を求める声があり、それらにこ

公営のままですることができるのか。  
**答** ニーズに応えるため民間の活力を活か



竹内秀明議員

質問事項

- 1 閉校後の活用と、協働による地域づくり
- 2 今後の重要文化財日土小学校のあり方
- 3 設計士松村正恒氏の功績
- 4 地域おこし協力隊の導入

閉校後の活用と協働による地域づくり

**問** 日土東小学校跡地に仮に、みなつとに對抗し、やまつとと称し、交流施設を創ろうとしたとき、八幡浜市として出資が可能であるか。

**答** 日土東地区において、ことし5月から9月にかけて計5回、魅力ある地域づくりのために今何をすべきかをテーマに住民集会が開催され、市も協働者の立場で参加した。今後、地域の皆さんが中心となって、さまざまなアイデアをもとに具体的な事業が実現されることを期待する。出資の要望だが、市としては、株式会社への出資は非常に例外的であり今回のような地域活性化の取り組みについては個々の事業ごとに補助の可能性を検討するのが適当ではないかと考える。市も協働者として積極的に地域の皆様と連携し、支援策を講じ日土東地区の地域振興に取り組み市全体の活性化につながるよう努めたい。

今後の重要文化財日土小学校のあり方

**問** 今後、日土小学校に通う児童数の見込みを教えてください。同時に、重要文化財の日土小学校で我が子をのびのびと学ばせたいと考える市民がおられると思う。そこで特例を設け、校区を撤廃し、広く八幡浜全体から希望者を学びの場とするのはいかがか。

**答** 日土小学校の児童は、現在56名。今後

数年は若干の増加が見込まれ、70名程度で推移する見込み。長期的には減少することが予想される。教育委員会でも日土小学校の児童数を確保し、学校存続にご提案の市内全域からの児童受入れや山村留学等の取り組みなどを参考に対策を検討したい。

設計士 松村正恒氏の功績

**問** 偉大な松村正恒氏の功績をたたえ、早く名誉市民にすべきではないか。

**答** 来年は市制施行10周年に当たり、新たな名誉市民の顕彰について現在検討しており、松村正恒氏も含め幅広く考えていく。

地域おこし協力隊導入

**問** 八幡浜市においても新年度より地域おこし協力隊の導入が計画されている。任期終了後も、大島、日土東地区にとどまるよう地域と行政一体で彼らに協力していただきたい。

**答** 地域おこし協力隊は地方自治体が都市の住民を受け入れ、地域おこし活動の支援、住民の生活支援など、あわせて定住、定着を図り、地域の活性化に貢献するものであり、任期終了後も活動地域に定住していただけのように、市としても地域とともにバックアップを行いたい。



佐々木加代子議員

質問事項

- 1 人口減少への取り組みについて
- 2 認知症について
- 3 専用アプリで市民が投稿・地域の課題を担当課へ
- 4 雑誌スポンサー制度で図書館の経費削減を
- 5 投票入場券について

サテライトオフィス誘致について

**問** 徳島県三好市が取り組む人口減少、少子高齢化対策事業。空き家や廃校の増加による空きスペースを活用したサテライトオフィス誘致の検討をされているか。

**答** サテライトオフィスの誘致については、空港からも遠く、高速道路も通っておらず徳島県と比べ大都市圏からも離れており、特に八幡浜市に優位性がある状況ではなく、需要は今のところ不透明だと思っている。先進事例を参考にしながら、サテライトオフィス誘致の可能性について調査研究していきたい。

認知症について

**問** 認知症に対する正しい知識を持ち、地域で温かく見守っていきけるよう認知症サポート養成講座を公民館単位で積極的に開催されているか。

**答** 認知症についての理解者をふやすことを目的に、25年度までの7年間に5000人近く養成講座を受講されている。今年度は、白浜老人クラブ、松蔭地区公民館の婦人学級など5回開催している。10人弱程度の仲間を集めていただければ、いつでも時間帯にかかわらず講師を派遣し、養成講座を開催していく。

市民の皆様困り事、例えば道路の陥没や地域の問題箇所、カーブミラーの設置依頼や改善してほしいことなどをスマートフォンアプリを活用して、すぐに市の担当課に知らせることができるシステムを導入してはどうか。

**答** 今年の11月にホームページのリニューアル作業を終え、投稿だけであれば各課宛にメールを送信することも可能で、今後必要な機能についても追加改善していく予定。ホームページの機能の充実に優先に、導入の必要性について調査研究を進めていきたい。

雑誌スポンサー制度で図書館の経費削減を

**問** 図書館に置いてある雑誌の購入費を企業などに負担してもらおうかわりに、雑誌にかけるカバーに広告を掲載する雑誌スポンサー制度を導入してはどうか。

**答** 導入している図書館のメリットやデメリットを調査研究し、前向きに検討したい。

投票入場券について

**問** 期日前投票の宣誓書を投票入場券の裏面に印刷することはできないか。

**答** 費用面とスペースの関係から現時点では考えていないが、次回の選挙ではホームページから宣誓書をダウンロードできる方法がとれるよう検討したい。

専用アプリで市民が投稿、地域の課題を担当課へ



岩淵治樹議員

質問事項

- 1 人口減問題と八幡浜市の空き家対策
- 2 犬と人間との理想的共生

人口減問題と八幡浜市の空き家対策

**問** 国の主要課題としての地方創生方針を受け、今こそ上意下達ではない地方自治体からのやる気と発信が求められている。市庁舎内にアンチ人口減少専門のセクションを作り、包括的且つ俯瞰的に人口減少対策を進めるべきと再度提案するが如何か。

**答** 庁内横断的な取り組みは不可欠と考える。未だ専門的なプロジェクトチームについては具体化していないが、様々な分野、部署で連動し相乗効果を生む仕組み作りが必要と認識している。

**問** 全国的にも問題化している空き家の増加だが、当市では対策に不可欠な空き家データが未だ手つかずの状態。市内の実態調査とデータベース化の予定は。なぜ対策を進めないままになっているのか。倒壊の恐れのある危険な空き家の撤去を促す空き家対策推進特別措置法が成立し、取り組みが加速する事を望むがどのような考えか。併せて、空き家の利活用で移住や定住を促す等、市としての方向性を聞きたい。

**答** 空き家対策は、今後調査を実施し、状況を検討した後、計画策定をしたい。データベースの整備と同時に、著しく危険な老朽空き家には効果的な対策を実施したい。空き家の有効利活用は、各地の実例を参考にし、自治体のみならず、NPOによる空き家情報提供、定住支援、管理見守り、改修費補助など、市

全体で有効利用を検討する必要がある。

犬と人間の理想的共生について

**問** 八幡浜市都市公園条例に規定されていないにも関わらず、公園での犬の散歩は禁止されている。愛犬家にとって不公平ではないか。愛犬家のマナー遵守を促し、ルールを決めて公園を開放し、犬と人が優しく共生する文化を作るべきと思うが如何か。

**答** 犬好きでない方、毛のアレルギー、排泄物の苦情などがある現状では、現行通りがベターと考える。

**問** 市有の遊休地を活用し、市周辺には皆無のドッグラン施設を率先して作ることで、「犬と愛犬家にやさしい町」をアピールできると考えるが如何か。

**答** ドッグラン施設は、その性格上特定の個人や団体の利用だけになる傾向がある。市民からの具体的な要望があれば検討したい。

**問** 犬の「殺処分ゼロ」は皆で考えるべき問題。市で年間引き取る頭数と処置は。

**答** 今年度、市に持ち込まれた犬の頭数は22匹。迷い犬はホームページに掲載している。うち21匹が県動物愛護センターに送致された。

総務委員会報告

樋田 都 委員長

八幡浜市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

**理事者説明** 今回の改正は、各種証明手数料等の額を適正な額に改めることであり、印鑑登録証や住民票の写しの交付手数料、租税公課に関する証明手数料など14項目の手数料について1件につき「200円」を「300円」に改定するものである。これらの手数料は、昭和61年4月1日の改定以降、29年間据え置いていたが、県内11市中9市が300円であり、こうした状況を踏まえて改定を行う。

**問** この改正による増収額はいくらになるのか。

**答** 平成25年度実績は、728万2000円である。これを300円に改正した場合は、1092万3000円となり、増収額は364万1000円となる。

**指摘** 県下の状況を踏まえての改定であるが、市民に身近で利用の多いものについては、出来るだけ値上げは控えるべきである。

**ふるさと納税寄附者への謝礼について**

**理事者説明** 現在、ふるさと納税寄附額が1万円以上の方に対してみかん、じゃこ天等、八幡浜市の特産品を謝礼として贈呈している。今年度は、10月末時点で昨年度の約2倍の寄附件数があり、今後の寄附件数を考慮して不足額を増額する。

**問** 昨年度のふるさと納税の実績と愛媛県下でのランクほどの程度か。また、謝礼の特産品が偏った品になっているのではない

**答** か。平成25年度の実績では、件数351件で県内6位、金額は1019万4000円で7位である。今年度において県内で実績のある自治体を調査した結果、特産品が非常に充実しており、当市においても品数を増やして、より充実したものにしてPRして行きたい。

**要望** ふるさと納税に関してメディアに取り上げられ、八幡浜市をPRできるような方を協議して頂きたい。

**総務管理費、企画費のうち旅費に関連して**

**理事者説明** 来年度から事業実施を予定している地域おこし協力隊の採用に伴う職員等の出張旅費、面接試験の呼び寄せ旅費及び採用決定者の赴任旅費である。総務省の移住促進事業であり、将来地域に定住してもらうことを目的とし、受け入れ地域は、大島地区と日土東地区である。

**問** 大島・日土東地区での取り組みは、具体的にどのようなものか。

**答** 大島地区では、地域資源を活用した観光設備、地域の情報の発信による交流人口の増加への取組みである。日土東地区では、地区住民が中心となって地区の活性化について協議した日土東小学校を活用して経済的效果が生まれるようなイベントの開催等に取組んでもらう。

**問** 地域おこし協力隊への市の援助は。報酬は月額18万円であり、別に活動費も支給する。この費用については、国の特別交付税の対象となっている。

**答** 請願第6号及び第7号については、賛成多数で引き続き閉会中の継続審査となった。

## 民生文教委員会報告

石崎 久次 委員長

**問** 八代中学校木造校舎地震改築建築主体工事を設計変更し、新たに屋外階段を増設するということだが、なぜ当初から設計されていなかったのか。

**答** 市内の設計事務所へ業者委託をしていた。受託した設計事務所は建築確認審査機関と十分な協議、検討を行って設計書を作成すべきだが協議不足のまま成果物を出した。その結果、建築確認審査機関から当初の設計では屋内階段までの避難距離が基準を満たさないで、屋外階段を増設するように指導を受けて行うものである。

**再問** 今回契約変更し、取付ける屋外階段についてはどのようなものになるのか。

**答** 幅105cm、延長13・2mの木造を考えている。使用する部材は焼え代を考慮した準耐火構造とし、加圧防腐剤の部材注入や浸透性保護塗料を塗布するなど防腐対策を考えている。5年に一度の定期的な塗り替えにより屋外階段は長期間の使用が可能となる。

**問** 市立八幡浜総合病院職員の特殊勤務手当を変更することだが、救急患者の対応のため、休日にとどの位の頻度で呼び出しがあるのか。

**答** 引き上げを予定している休日、祝日の呼び出しは月に25件程度である。

**再問** 医師を呼び出す基準は。

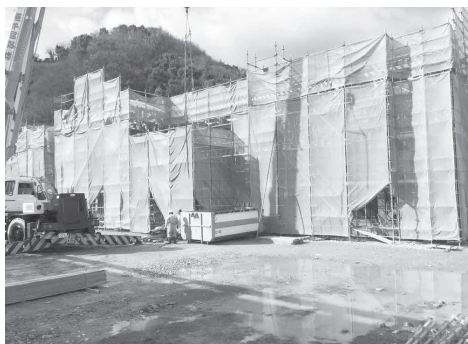
**答** 全ての科の医師が当番で一人ずつ当直に入っている。当直の医師がまず一次的に診るが、これは専門家の医師でないで診察できないと判断した場合に、待機の医師を呼び出すことになっている。

**問** 市制10周年事業委託料、健康マラソン、駅伝カーニバルに、当地アイドルアイキューンを招へいすることによって観客動員をどう予測しているのか。

**答** ご当地アイドルのため、全国から集まるものではないが、地元の小、中、高校生には人気があると考える。

**問** 委託料16万2千円は人件費のみでなく、イベントにかかるものも含めて計上しているのか。

**答** 市制10周年記念事業としては、アイキューンのメンバーに健康マラソンに走って頂くことと、ミニコンサートを予定している。この委託料は、ミニコンサートの音響設備費を含んでいる。



建設中の八代中学校新校舎

## 産業建設委員会報告

遠藤 素子 委員長

**八幡浜市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について**

**問** 毎月行っている検針を2ヶ月毎にするとのことだが、それによってどのようなことが想定されるか。

**答** 基本料金の基本水量は、8m<sup>3</sup>までとなっているため、例えば4月に9m<sup>3</sup>使用すると1m<sup>3</sup>分は超過料金が発生するが、5月の使用料が6m<sup>3</sup>だった場合は、平均で請求するため、超過料金は発生しないことになる。この場合、市民の方からすれば得することになり、その金額は年間200万円程度と試算している。請求は、1ヶ月ごとに行う。

**「シーフードセンター八幡浜」に係る補正予算に関して**

**問** 新設の「シーフードセンター八幡浜」の現状と今後の見通しを問う。

**答** 今年9月から八幡浜漁協に貸与し、漁協によって加工品の開発や受託加工を行っている。現状は、商品名「浜ぶし」と呼ばれるイカの削り節を開発し、12月から市内で販売を開始し、これ以外にも、大島産の「すじ青のり」や磯津産の「アイゴ」といった加工品も開発中である。今後、県の食品産業技術センターや大手企業の技術的なアドバイスを受ける予定である。

**問** 「シーフードセンター八幡浜」には4名の従業員が働いているとのことだが、まだ加工施設の収入もなく、また、漁協事態

も経営改善中であり、大変心配している。その点をどのように考えるか。

**答** 他の加工施設を見ても、軌道に乗って収益を出すには、一般的に3年以上かかっている。この施設は、まだスタートしたばかりで、最近やっと100万円程度の収入が出たと聞いている。しかし、まだまだ収益を出すことは難しいと思うので、市としてもこういった新しい加工事業の芽を育てていきたいと考えており、来年以降も財政的な支援をしていきたい。

**八幡浜市第二建設残土処理場測量設計等委託料について**

**理事者説明** 八幡浜市第二建設残土処理場測量設計等委託料3591万円は、八幡浜東インターのフルインター化に伴う残土と夜昼道路新規事業化に伴う第二夜昼トンネルの残土を処理するため、川之内地区に新たな残土処理場の建設を予定しており、そのための費用である。

**問** かなり広範囲な残土処理場になると思われるが、用地買収費、工事費はどの程度想定しているのか。

**答** 用地買収費については、これから測量を行い面積を出さないとはっきりしたことはわからない。工事費については、田浪の残土処理場の経験からいくと、約7億円程度と考えている。

**問** 県からはいくらか入るのか。

**答** まだ県とは費用面まで協議していないが、田浪の残土処理場の場合で工事費が約4億8000万円かかることになっており、県から半分程度を残土処理料としていただいている。

## 行政視察報告

委員会別	総務委員会	民生文教委員会
視察日	9月30日～10月2日	10月7日～10月10日
視察先	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東京都調布市 公共施設の屋根を利用した太陽光発電事業について</li> <li>○東京都日野市 土地活用推進事業について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○埼玉県吉川市 高齢者福祉施策について</li> <li>○宮城県石巻市 石巻市立病院復興基本計画について</li> <li>○宮城県女川町 東日本大震災における保育施設の被災状況と現状について</li> <li>○宮城県山元町 東日本大震災における学校施設の被災状況と今後の課題について</li> </ul>
視察風景	 <p style="text-align: center;">日野市</p>	 <p style="text-align: center;">石巻市</p>

## 12月定例会 審議結果

番号	件名	審議結果
請願第6号	伊方原発を再稼働させないことを求める請願について	継続審査
請願第7号	避難計画が策定され住民の安全が保障されるまで、伊方原子力発電所3号機の再稼働をしないことを求める意見書提出についての請願書	継続審査
認定第1号	平成25年度八幡浜市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第2号	平成25年度八幡浜市水道事業会計決算の認定について	認定
認定第3号	平成25年度市立八幡浜総合病院事業会計決算の認定について	認定
報告第25号	専決処分の報告について（訴えの提起について）	報告
報告第26号	専決処分の報告について（市営住宅滞納家賃の支払請求に係る訴え提起前の和解について）	報告
報告第27号	専決処分の報告について（平成26年度八幡浜市一般会計補正予算（第5号））	原案承認
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議のない旨答申
議案第113号	「八代中学校木造校舎地震改築建築主体工事請負契約の締結について」の議決変更について	原案可決
議案第114号	八幡浜市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第115号	八幡浜市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第116号	八幡浜市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第117号	八幡浜市教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第118号	八幡浜市市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第119号	八幡浜市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第120号	八幡浜市防災会議条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第121号	八幡浜市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第122号	八幡浜市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第123号	八幡浜市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第124号	八幡浜市簡易水道条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第125号	八幡浜市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

番号	件名	審議結果
議案第126号	市立八幡浜総合病院職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第127号	平成26年度八幡浜市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議案第128号	平成26年度八幡浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第129号	平成26年度八幡浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第130号	平成26年度八幡浜市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第131号	平成26年度八幡浜市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第132号	平成26年度八幡浜市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第133号	平成26年度八幡浜市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第134号	平成26年度八幡浜市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第135号	平成26年度八幡浜市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第136号	平成26年度八幡浜市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第137号	平成26年度市立八幡浜総合病院事業会計補正予算（第2号）	原案可決
請願第14号	住民の安全・安心を支える国の公務・公共サービス体制の充実を求める請願書	不採択
請願第15号	自治体非正規雇用・公務公共関係労働者の雇用・待遇の抜本改善を求める意見書に関する請願書	不採択
議員提出議案第6号	「手話言語法（仮称）」の早期制定を求める意見書の提出について	原案可決
	議会閉会中における継続審査について	原案可決

## 各議員の議案に対する賛否の状況

賛否の分かれた案件を記載しています。  
そのほかについては全員賛成で可決されました。

議席	氏名	議案の可否	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
	議案番号		西山一規	佐々木加代子	竹内秀明	岩淵治樹	平家恭治	河野裕保	石崎久次	樋田都	新宮康史	上田浩志	井上和浩	遠藤素子	宮本明裕	山本儀夫	大山政司	萩森良房	
	認定第1号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議 長	○	
	議案第115号	可	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
	議案第116号	可	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
	議案第117号	可	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
	議案第118号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		○	○
	議案第119号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		○	○
	議案第127号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		○	○
	請願第14号	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×		○	×
	請願第15号	否	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×		○	×
	継続審査(請願第6号)	可	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		○	○
	継続審査(請願第7号)	可	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	

[○：賛成 ×：反対 大山政司議長は採決に入っておりません]

### 編集後記

市民の皆様、風邪は引いて  
いませんか。まだまだ寒い日  
が続きますが体に十分気を付  
けて下さい。

さて、平成27年度より、大  
島と日土東に地域おこし協力  
隊の導入が計画されており、  
期待しているところです。

八幡浜の元気は地域からの  
の思いがあり、是非とも八幡  
浜に定住して頂き、地域の活  
性化を地域と行政が一体と  
なって頑張つて行きたいと思  
います。

市民の皆様もご協力お願い  
致します。

竹内秀明

### 《議会だより編集委員会》

委員長 西山一規  
副委員長 竹内秀明  
委員 佐々木加代子  
委員 平家恭治  
委員 河野裕保  
委員 樋田都

八幡浜市議会事務局  
TEL (代) 22-3111  
上田浩志